

一集落一戦略実践事業取組組織の概要

【盛岡地区】

集落・グループ名	農事組合法人 大巻農産	
代 表 者 名	組合長 佐藤 正八	
所 在 地	紫波町大巻字八竜 74	
設 立 年 月 日	平成 1 1 年 2 月 1 6 日	
参 加 農 家 数	8 6 人	
組 織 概 要 業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 4 3 年農業構造改善事業で水田 30a の基盤整備実施にあわせ、集落全戸加入の農業生産組合を設立し、農作業受託を中心に活動。 ・平成 7 年の県営圃場整備の着手に併せ、平成 1 1 年に法人組織へと再編を図った。 ・高齢化や兼業農家の農地や経営の受託等が必要となり、現在、福利厚生制度を実施しながら、若い担い手 2 名を年間雇用。 ・経営面積：77.2ha（米 53.3、麦 23.3、その他 0.6） 	
テ ー マ 設 定 理 由 将 来 目 標	<p>「野菜栽培による所得確保」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋のモチ米収穫後には作業がなくなることから、通年雇用者 2 名分の収入確保をめざし、野菜の試作に取り組む。 ・将来は、露地野菜をはじめ、冬場にハウスでの野菜栽培を定着させながら所得確保をしていきたい。 	
事 業 費	1, 1 5 0 千円（うち県補助金 2 6 6 千円）	
事 業 内 容	秋キャベツの試作栽培 30a	
取 組 み 状 況	11 月中旬まで出荷。生育は順調。	

一 集落一戦略実践事業取組組織の概要

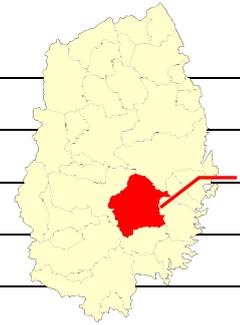
【一関地区】

集落・グループ名	平泉自然薯の会	
代 表 者 名	菊地 繁志	
所 在 地	平泉町平泉字衣関143-3	
設 立 年 月 日	平成19年4月1日	
参 加 農 家 数	5人	
組 織 概 要 業 務 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・平泉町内の水田転作地、及び畑地30aで自然薯を栽培。 ・構成員5名で年間2,500～3,000本を栽培。 ・現在、自然薯を活用した蕎麦、うどんを加工委託し、販売している。 	
テ ー マ 設 定 理 由 将 来 目 標	<p>「新商品開発、販売促進活動、及び自然薯加工による所得向上の取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在販売している商品は好評であるが、平泉の世界遺産登録による観光客の増加が見込まれることもあり、平泉町産地直売所を利用しつつ、新商品の試作、開発及び販売促進活動を行うことで、自然薯の平泉町特産品としての確立を目指す。 ・栽培技術の向上や自然薯の加工に取り組むことで収益性の向上を図る。 	
事 業 費	807千円（うち県補助金266千円）	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然薯の加工 ・新商品の試作・開発（アイスクリーム、かりんとう、コロッケ、つけもの） ・販売促進活動（のぼり、チラシ） ・先進地視察 	
取 組 み 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・H22年産で新商品3点（コロッケ、かりんとう、漬物）販売、売れ行き好調につき完売。 ・H23年産も販売予定。 ・先進地視察（北上市と宮城県） 	

一集落一戦略実践事業取組組織の概要

【遠野地区】※平成22年度事業実施

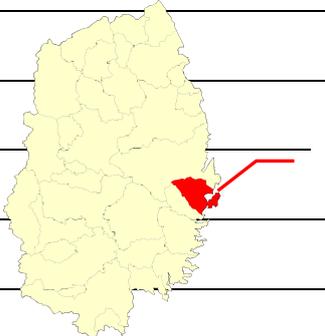
集落・グループ名	農事組合法人 宮守川上流生産組合
代表者名	組合長 多田 誠一
所在地	遠野市宮守町上宮守 4-80-1
設立年月日	平成8年
参加農家数	組合構成員数 181戸
組織概要 業務概要	<ul style="list-style-type: none"> ・かつては小規模経営の農家が大半で、小区画のは場が地域の8割を占めていたため、大型機械の導入が難しく、農業の衰退と地域活力の低下が懸念されていた。 ・平成3年度に「宮守川上流地区農業農村整備事業推進委員会」を組織して、平成6年度から基盤整備事業を実施。「一集落一農場」構想を掲げて、平成8年に宮守川上流生産組合を設立し、平成16年に法人化した。 ・大型機械導入により低コスト・省力の大規模集落営農を実践する一方、ブルーベリーやプラム型トマト等の新規作物を導入し、平成22年11月に農産物加工所を設置し、加工・直売を通じた6次産業化を実現。非農家出身者の担い手とともに農業振興に取り組んでいる。
テーマ 設定理由 将来目標	<p>「夢のある一集落一農場の実現を目指して」 ～地域の産物を活かして、お客様に喜ばれる商品をお届けする～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト、ブルーベリー等の地域の農産物を活かし、収益を高める。 ・加工事業に取り組み、遠野、花巻地域、県下の農業振興に役立つ。 ・地域の農業担い手基盤強化、雇用の拡大・安定を図る。
事業費	903千円（うち県補助金266千円）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加工品製造技術の習得・加工品の市場・販路の調査の実施 ・ジュース・ジャムの試作加工品の求評・販売の実施
取組状況	<p>【成果】・先進地加工施設で加工技術の研鑽（加工・衛生管理等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の開発と試作品（ニンジン・リンゴミックスジュース）の製品化 ・加工品の市場、販路の調査の実施（売れ筋、意匠、品揃え） ・H22年度一集落一戦略事業分の所得実績 303千円 <p>【課題】・更なる加工品製造技術・品質の向上 ・収益性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の拡大 ・燻製等新製品の開発、販売



遠野市

一集落一戦略実践事業取組組織の概要

【宮古地区】

集落・グループ名	白石集落農業生産組合	
代 表 者 名	越田 正一郎	
所 在 地	山田町織笠 2 4 - 5 9 - 3	
設 立 年 月 日	平成 2 3 年 2 月 2 3 日	
参 加 農 家 数	1 9 人	
組 織 概 要 業 務 概 要	<p>町内に在住する農業に関心のある者が、結の精神のもとに助け合い協力しあいながら、活気ある明るい里づくりに取り組むとともに、地域資源や遊休農地の有効活用を図り、農産物の付加価値を高め、農業所得の向上を図ることを目的とし、消費者及び青少年との世代間の交流を持ち、地域活性化に取り組む。</p>	
テ ー マ 設 定 理 由 将 来 目 標	<p>「遊休地で栽培したそばの加工(住民参加の農業交流体験)、仮設住宅での地場野菜の販売、菓子加工研修の実施」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の基幹産業である農業の再生に取り組み、みんなが元気に明るく暮らせるよう、古くから地区内の結の精神の中心であった水車小屋を製粉、脱穀の作業場として復活させ、あわせて、産直、加工、販売に取り組む地産地消の活動を活性化させ、集落営農を推進し、地域の活性化につなげる。 	
事 業 費	5 8 4 千円 (うち県補助金 1 9 4 千円)	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・加工原料用、産直向け野菜の生産 ・農業体験交流会の開催 ・仮設住宅での地場野菜の販売 ・菓子加工の勉強会の開催 ・製粉用石うすの整備 	
取 組 み 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験交流会の開催(7/18 そばの種まき、9/23 そばの収穫、11/27 そば打ち体験・試食会) ・仮設住宅での移動販売を継続中(4月下旬～) ・今後、菓子加工研修を実施予定。 	